

## 第 69 号

発行所 〒157-8560  
東京都世田谷区成城1-13-1  
東京都市大学附属中学校・高等学校内  
電話 03-3415-0104  
発行責任者 安藤 友二  
編集責任者 川鍋 勝弘



東京都市大学附属中学校・高等学校〈同窓会ホームページ〉  
<http://tcu-kasiwa.org/>

今までは、本校卒業生の皆様との唯一の連絡媒体として当会報「柏」の発行(年2回)をしていましたが、これからはHPからのご案内並びに通信となりますので会員登録を必ずお願いいたします。

# 東京都市大学附属中学校・高等学校の取り組みについて



## 副校長 松木 尚

平素より同窓会のみなさまには、本校生徒のために物心共にお世話になり有難うございます。特に本校教育の一つの柱である「キャリアスタディ」に於いては、今夏も多くのOBの皆様にお力添えをいただき、生徒たちは有意義な経験をさせてもらいました。重ねてお礼申し上げます。

さて、この度は機関紙「柏」の紙面をお借りして、旧武蔵工業大学附属中高時から脈々と続く校訓「誠実・遵法・自主・協調」のもと、「文武両道」を目指し、飛躍を続ける現東京都市大附属中高の取り組みをご紹介します。

現在本校では、「たくましく!せかいへ」を合言葉に、本校教育の3本の柱として「主体的な学び」、「キャリア教育」、「国際理解教育」を立て、自ら探究し、発見し、未来を切り開いていく逞しい人間の育成に邁進しているところです。ここでは3本の柱について一つひとつご紹介させていただきます。

### 1. 「主体的な学び」

知りたいと思ったことを、自分でつかみ取る力を育むため、主体的な学びを大切にしています。科学実験の分析や考察、弁論大会での論文発表など、正解のない課題に取り組み、自らの力で導き出す「学ぶ喜び」が、未来を切り拓く原動力になると考えています。まず、身近な社会の理解からスタートします。クラスの中での自分を見つめ、周囲の友人の気持ちを考え行動できるようにします。多摩川徒歩ラリーでは、仲間と一緒に地域社会を観察し、蓼科林間学校や東北農作業体験旅行では、日本の自然と産業を学べます。次に、自身と社会とのつながりを考えます。社会人講演や企業研修を通じて社会の一端に触れ、中期終了論文の作成をもって、自身の将来に向けての文理選択や進路選択に進んでいきます。その延長線上にはどのような世界が開けているのか、6年かけて様々なプログラムに取り組んでいきます。

### 2. 「キャリア教育」

「難関国立〇〇大学に何人合格させることができるか」など、私立学校にとっては死活問題になりかねない大変重要な要素ではありますが、本校における進路指導は、合格目的だけの単なる進学指導ではありません。生徒自身が主体的に進路を決定できる能力や、しっかりとした職業観・人生観を身に付けさせることを重要視しています。この指導の中核を成しているのが本校同窓会に全面協力をいただいている「キャリアスタディ」です。中学3年生が約一年をかけて、社会人とは、仕事とは何かを理解し、社会に出るまでに何を経験すべきかを学ばせてもらいます。実際に体験する「企業研修」は、さまざまに行われるプログラムの中でも一番インパクトが強いようで、漠然と描いていた職業に直接触れる貴重な経験となっています。

また、4月からスタートした「キャリアスタディ」の集大成として11月に、それまでにお世話になったOBや企業の方々をお招きし、予選をクリアしてきた代表数組が、下級生や保護者を含めた大勢の前でプレゼンテーションを行います。自身の将来についてしっかりと考え、どんな生き方をしたいか、様々な思いをプレゼンに込めていて、以後の学校生活の糧となっていきます。

### 3. 「国際理解教育」

現在多くの学校が「国際化」「グローバル化」を唱え、英語教育や海外修学旅行などに力を入れています。特に私立学校は、生徒募集の目玉としてこれらを推奨し、他校との差別化を図っています。本校は、こうした流れに追随するのではなく独自の観点から国際化に取り組んでいます。まず、校内の校務分掌に「国際部」を設け、研究熱心な教師を中心に、東南アジア異文化体験やNZ語学研修、NZターム留学(3か月留学)、北米研修などを企画し導入してきました。ただ海外に行けばいいのではなく、すべての行事にホームステイを組み、現地の方々との顔を突き合わせての交流による異文化体験を行っています。そこでのコミュニケーションの中心はやはり英語となります。中学一年生からネイティブス

ピーカーを配置し指導していますが、多くの生徒は大変な苦勞をして帰ってきますが、国内では得ることができない貴重な体験を沢山積んでいきます。この海外での苦勞が、生徒を逞しく育て、もっと英語を勉強し、また海外へ出たいとの意欲を高めてくれるのです。今では国際理解教育は、異文化理解と学習意欲の向上といった重要な教育の柱の一つとなりました。

以上本校教育の3つの柱についてご紹介させていただきました。この他にも生徒の学校生活を支える多くのプログラムを沢山用意しておりますが、一例

をあげますと、国公立大学受験のためのカリキュラムと学力に合わせた効率の良い授業展開を目的としたコース制の導入など、充実した学習環境の確保を第一に取り組んでおります。最後になりますが、この度は、「柏」の紙面をお借りしてご紹介をさせていただき有難うございました。学校の取り組みのすべてをお知らせすることは出来ませんでしたが、学校の様子などご関心をお持ちになりましたら、学校HPでもご紹介しておりますので、ぜひアクセスいただき学校の取り組みや後輩たちの活躍などをご覧ください。

## 2019年度の同窓会懇親会

【還暦・成人・50歳・40歳・30歳の祝い】

同窓会会長 安藤 友二 (25期生)

今回の懇親会では、成人、還暦、そして50歳のグループが集まった。その中で50歳のグループが一番多く集まった。何かのイベントで参加者を集めるには、大変時間がかかる。同窓会が管理している名簿は、卒業後の変更の反映が完全にはできておらず、卒業から年月がたった人たちを集めるのは難しい。結婚して実家から離れて暮らす人、亡くなった人、仕事が忙しくて都合のつかない人など理由は様々だが、1年くらい前から準備しないと多くの人を集めることは難しい。

今回は全体で約100名が集まった。また、江島先生が支援しているアクロ体操の催しもあり結構盛り上がった。

私が担当した還暦グループは約10名しか参加できなかったが、学校時代の話や新婚旅行どうしの2人がハワイで出会った話などで盛り上がり、今度の柏苑祭で再会しようということになった。

時がたっても当時に瞬時に戻れるのは、こういった仲間との再会の時のように思う。一緒に呑みながら、馬鹿なことをしたことや井桁先生が顧問をしていた名前だけのフェンシング部に所属していた畠山君が、何故か卒業写真には、井桁先生と二人だけで写っていたこと。これは、畠山君に聞いたところ、先生の頼みで一緒に撮ったとのことであった！

やはり、青春時代を共に暮らした仲間との会話は面白く楽しい。定期的に会ってお互いの近況を語り合うのもよいのでは、と思った次第である。皆様も、同窓会懇親会や柏苑祭を仲間との再会の機会として利用してはいかがでしょうか。

同窓会はOBの住所を管理しています。是非活用してください。

これからも同窓会活動の支援を、皆様よろしくお願ひします。



# 第44回 総会報告

◆開催日時：2019(令和元)年5月25日(土) 16:00~16:35  
◆開催場所：渋谷エクセルホテル東急 フォレストルーム

## 2018年度(2018年4月1日~2019年3月31日)活動報告

1. 2018年5月26日(土)に同窓会総会を開催
2. 会員の親睦を図るため、総会後の懇親会で成人の祝い及び還暦の祝いを実施
3. 機関紙「柏」(67号、68号)を発行(HPにも掲載)
4. 同窓会規約改訂版を発行(HPにも掲載)
5. 母校の「柏苑祭」に参加し、同窓会賞を「生物研究部」に贈呈
6. 母校の「キャリアスタディ」に協力

## 2018年度(2018年4月1日~2019年3月31日)決算報告

### 一般会計報告(収入の部)

科目	予算額	決算額	内容
入会金	2,740,000	2,740,000	65期生274名
引継金	3,249,071	3,249,071	前年度より
キャリアスタディ	1,200,000	1,200,000	
雑収入	900,000	1,148,020	成人・還暦当日参加費11+70+22名×6,000円他
合計	8,089,071	8,337,091	

### 一般会計報告(支出の部)

科目	予算額	決算額	内容
会議費	300,000	200,500	理事会6回その他
交通費	50,000	0	
総会費	50,000	2,938	宅配便等雑費
『柏』制作費	30,000	0	
通信費	10,000	0	
印刷費	250,000	180,700	柏67,68号各400部, 規約300部他
事務費	30,000	41,389	銀行手数料他
事務局活動費	70,000	104,478	香典を含む
同窓会賞費	10,000	7,570	
小委員会費	200,000	0	会議費を含む
名簿整備費	50,000	113,400	
柏苑祭費	75,000	46,481	
HP維持費	50,000	35,100	
会員交流補助費	1,700,000	1,675,559	参加費103名618,000円、2019年度総会案内を含む
キャリアスタディ	1,200,000	1,118,419	
基金へ繰入金	500,000	1,000,000	
予備費	100,000	101,852	キャリアスタディ残金返却、青木理事への支払他
繰越金	3,414,071	3,708,705	
合計	8,089,071	8,337,091	

### 基金会計報告(収入の部)

科目	予算額	決算額	内容
繰入金	500,000	1,000,000	前年度分を含む
引継金	500,000	0	前年度より
雑収入		0	預金利息
合計	1,000,000	1,000,000	

### 基金会計報告(支出の部)

科目	予算額	決算額	内容
取崩	0	0	
繰越金	1,000,000	1,000,000	
合計	1,000,000	1,000,000	

上記の通り2018年度会計を報告いたします。

2019年5月25日

会計代行 佐々木 幹夫

### 会計監査報告

前記会計内容を監査の結果、正しく表示、記載してあることを認めます。

2019年5月25日

会計監査 長谷部 伸一

## 2019年度(2019年4月1日~2020年3月31日)活動計画報告

1. 年1回同窓会総会を開催
2. 会員の親睦を図るため、総会後の懇親会で成人の祝い、還暦の祝いを及び35期生同期会実施
3. 年6回の理事会を開催(必要により、臨時理事会を開催する。)
4. 年2回機関紙「柏」を発行(HPにも掲載)
5. 同窓会規約改訂版を発行(HPにも掲載)
6. 母校の「柏苑祭」に参加し、同窓会賞を贈呈
7. 母校の「キャリアスタディ」に協力
8. 会員の親睦を図る企画を立案し実行

## 2019年度(2019年4月1日~2020年3月31日)予算案報告

### 収入の部

科目	予算額	内容
入会金	2,430,000	66期生243名
引継金	3,708,705	前年度より
キャリアスタディ	1,250,000	
雑収入	900,000	成人・還暦祝い等参加費(150名×6,000円)
合計	8,288,705	

### 支出の部

科目	予算額	内容
会議費	250,000	理事会6回その他
交通費	10,000	
総会費	10,000	宅配便等雑費
『柏』制作費	30,000	編集委員会
通信費	10,000	
印刷費	200,000	柏69,70号各400部, 規約300部他
事務費	50,000	銀行手数料他
事務局活動費	50,000	
同窓会賞費	10,000	
名簿整備費	50,000	
柏苑祭費	50,000	
HP維持費	40,000	
会員交流補助費	1,900,000	参加費150名×6,000円を含む
キャリアスタディ	1,250,000	
基金へ繰入金	500,000	
予備費	100,000	
繰越金	3,778,705	
合計	8,288,705	

### 基金会計(収入の部)

科目	予算額	内容
繰入金	500,000	
引継金	1,000,000	前年度より
雑収入	0	預金利息
合計	1,500,000	

### 基金会計(支出の部)

科目	予算額	内容
取崩	0	
繰越金	1,500,000	
合計	1,500,000	

### 理事

理事は、別紙“東京都市大学附属中学校・高等学校同窓会規約附属書”に記載の“同窓会役員名簿”のとおり

### 規約改正

“東京都市大学附属中学校・高等学校同窓会規約”のとおり改正(HPに掲載)

\*同窓会ホームページ

<http://tcu-kasiwa.org/about/index.html>

## ＜キャリアスタディ企業研修を終えて＞

37期生 小林 隆之

同窓会は、本年もキャリアスタディのハイライトである企業研修を行い、全日程を無事終了しました。

本プログラムの運営に関わっている者として、ご協力並びにご尽力頂いた関係者の方々に改めて感謝申し上げます。

私は、自動車のメンテナンスから新車の販売までを事業にしているMスポーツさんでの研修のコーディネーターを四年前から務めております。

Mスポーツさんは、レース車の製作やメンテナンスも手掛けており、その職場は自動車好きにはたまらない魅力溢れる場所です。今回参加した生徒六人のうち三人が自動車部員だった事もあり、目を輝かせて研修に取り組んでいる姿がとても印象的でした。

毎年お世話になっているMスポーツさんは、研修

内容に毎回工夫を凝らしていただき、部品を分解して行く工程で外した部品を手に



取って動作原理を学んだり、レーシング車の運転席に座ってギアのシフト操作やアクセルを踏んでエンジンを回してみたり、実際のモノに直接触れる機会が持てる点で、座学では得る事の出来ない価値のある研修となっています。

コーディネーターの立場である私自身も新しく学

ぶ事が多く、Mスポーツさんにお世話になりつつ放しなので、社員の皆さま



さんに少しでもお返しが出来ればと思い、自動車部のメンバーに、部活の活動内容やレースでの実績をMスポーツさんにプレゼンすることを提案したところ、自動車部のメンバーはしっかり準備をして、パーフェクトに遂行してくれました。そして、生徒の研修への取り組み姿勢も意欲的で、出てくる質問の内容もレベルが高いことに私自身が驚きました。

キャリアスタディの狙いは、実社会で活躍出来る人間力の育成を目指すことだと考えていますが、今

## ★来年度の総会・懇親会案内

日時：2020年5月23日（土曜日）

総会：16時～

懇親会：17時～

(還暦・成人・50歳・40歳・30歳の祝い)

場所：渋谷エクセル東急ホテル

東京都渋谷区道玄坂1-12-2 (渋谷マークシティ内)

回参加した生徒は既に素晴らしいものを備えていて、この活動に関わらせて頂いているOBとして嬉しい限りです。

一日の研修の最後に、コーディネーターから生徒に対して講義を行う時間を設け、そこで私なりのメッセージを伝えていきますが、



情熱を注げる好きな事や得意な事を仕事にすれば、意欲的に仕事に取り組むことが出来て生産性も上がるのは言うまでもないので、学生時代に好きなものを見つけることが重要だという点を強調しています。

そして、まだ自分の好きな事が見つからない場合、それを見つけるにはどうしたら良いか？という問いに対して、多くの事を体験してみることが有効だと答えていますので、Mスポーツさんの研修のように、体験する機会のあるプログラムは大きな意義があると信じて疑いません。

また、Mスポーツさんの社員のお話を聞くことで、実際に好きな事を仕事にしてやりがいを感じている社会人の、生の声を聞くことが出来た点も価値のある体験となったでしょう。



最後に、この様な有意義な活動をより多くの人に知っていただくために、多方面にこの活動の状況を発信し、キャリアスタディの更なる発展を目指して今後も活動をします。